

きりとくだより



群馬県立桐生特別支援学校
学校通信 第19号 R8.3.24
(最終号)

本日、令和7年度の修了式を無事に迎えることができました。

この1年間、子どもたちは毎朝、ご家族に見送られ元気に登校することができました。時には背中を押されての登校となった日もあったかと思いますが、一日一日の積み重ねが、今年度の確かな学びに繋がりました。

本日、1年間の成長を記した「通知表」を持ち帰ります。ぜひお子様と一緒に読み、その成長を喜び、たくさん褒めてあげてください。お家の方に認められて「うれしかった」という気持ちを胸に、新年度がスタートする4月7日にまた元気な姿で会えることを楽しみにしています。1年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。
桐生特別支援学校 校長 齋藤由香

令和7年度 小中学部卒業式

3月12日、卒業証書授与式を挙行了しました。群馬県教育委員会 教育委員の宮坂あつこ様をはじめ、PTA本部役員の皆様、学校評議員の皆様のご臨席のもと、天候にも恵まれ、小学部・中学部あわせて13名の児童生徒が卒業の日を迎えました。卒業生は一人一人大変立派な態度で卒業証書を受け取りました。

これからもそれぞれの場所で新しいことに挑戦し、さらに大きく成長していくことを願っています。



本校県立移管10周年記念事業 田楽座公演について

前号でもお知らせしたとおり、令和8年度は本校の県立移管10周年にあたります。これを記念し、PTA主催の記念事業として、まつり芸能集団「田楽座」をお招きし、公演を実施することとなりました。田楽座は、長野県伊那市を拠点に、太鼓や踊りなどの伝統芸能を基にした公演活動を国内外で行っている団体です。本公演は、児童生徒にとって日本の伝統芸能の魅力に触れる貴重な機会となるとともに、保護者やお世話になっている地域の皆様にもご参観いただく予定です。なお、公演は**令和8年7月14日(火)**に実施いたします。

※公演の詳細について、改めて「きりとくだより」でお知らせいたします。



きりとく八木節

本校では「特色ある教育活動」として、桐生の伝統である八木節にオリジナル歌詞をのせた「きりとく八木節」を中心とした教育活動を行っています。今年度は、群馬大学理工学部八木節同好会から楽器を譲渡いただき、有志職員による八木節演奏チームを立ち上げました。地域交流(八木節交流)でお世話になっている菱地区の八木節同好会「上栄会」の皆様からのご指導もいただきながら、練習に励んでいます。今後も皆様のご協力のもと、「きりとく八木節」を通して、地域の方々との交流をさらに深めて参りたいと思います。

職員による八木節チーム、演奏初披露

子ども達の前で、初めて八木節演奏を披露しました。子ども達は演奏に合わせて踊ったり、職員と一緒に楽器を演奏したりして、会場は活気と笑顔にあふれました。



<上栄会の皆さんと合同練習>



本号をもちまして、今年度の「きりとくだより」は最終号となります。保護者の皆様、地域の皆様には、この一年間、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちの成長する姿を日々感じる事ができたことを、教職員一同うれしく思っております。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

